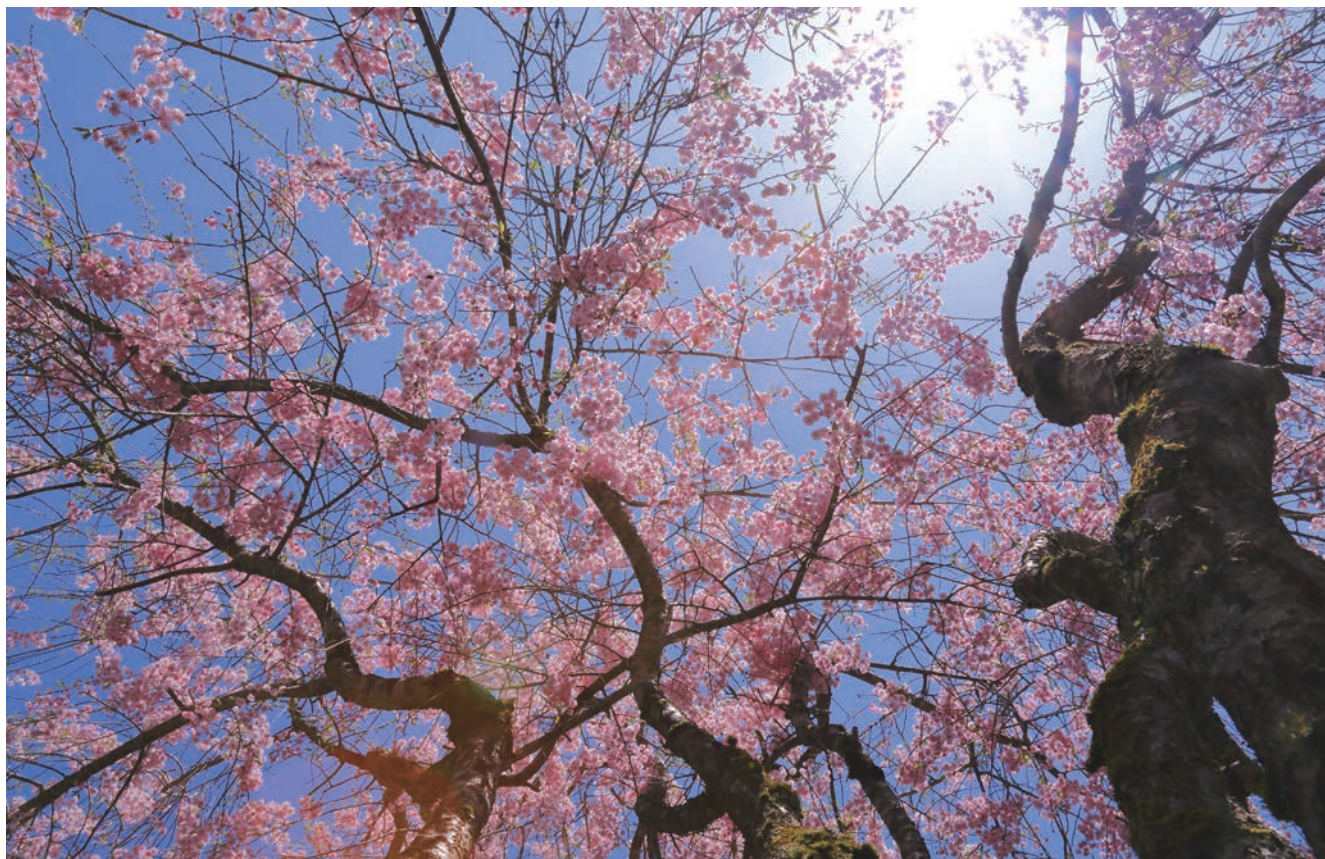




変わりゆく環境の中で…

医療技術部長 壺岐 円

この病院に理学療法士として勤務し始めてから20年が過ぎようとしています。その間に新しい病棟が建ち、ケアホーム、有料老人ホームも開設されました。そして今、大規模な建て替え工事の真っ最中です。来院された方々や近隣の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、当法人の事業にご理解とご支援をいただき大変感謝しております。2019年に法人創立60年を迎え、この様な新しいことに取り組めることは、法人が成長している証拠であり大変喜ばしい事だと思いつつも、私が働き始めた頃から思うと大きな変化であり、過ぎた年月を痛感します。

変化と言えば医療介護の現場は2年ごとに医療保険制度の改定、3年ごとに介護保険制度の改定があり、6年に1回は医療介護の同時改定という大きな変化があります。今年度も妊婦加算という新しい制度ができましたが、世間の逆風により見直しになりました。この様に、えっ???というような改定も行われ、当院でも改定

の度に右往左往することが多くあります。先月までやれていた事が翌月からはできなくなる事もあり、その都度患者様にどのように説明するか、また掲示内容はどのようにするかなど医療従事者（現場の職員）だけでは対応できないことも多くあります。こんな時も事務職員をはじめ多職種が一丸となり、当法人の理念である「優しい医療・楽しい職場」を提供できるよう奮闘しています。そのおかげでドキドキしながらも新年度を迎え、やっと安心する事が出来ています。昨年の今頃は、まさに医療介護の同時改定の為、勉強会や対策に慌ただしくしておりましたが、現在は新棟への引っ越し準備で忙しい日々を過ごしています。できるだけ平常心を装いながら日々業務に励んでいます。今後も医療介護を取り巻く環境がさらに変化していく事と思います。私も年齢を重ね、心身ともに融通が利かない部分も増えると思いますが、この環境の変化に遅れず、頑張っていくと思っています。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

第10回 共和会 研究発表会



平成31年3月2日（土）当院の多目的ホールにて第10回共和会研究発表会を開催しました。今年は共和会内外より135名の方にご参加いただきました。

本研究会も第10回の節目となる会を迎えることができました。当法人の理念にある「優しい医療」について日々行なっている事を振り返った5題の研究発表と、総務課より「楽しい職場」となる働き方への取り組みについての報告の全6題の発表を行いました。

看護部より発表された2題は、いずれも対応困難な認知症患者、発達障害患者へ、適切な評価と工夫した看護の提供で、症状の安定がみられた発表でした。臨床心理士、リカバ

リー支援委員会からは、在宅のひきこもりとなっている方や退院直後の患者様に行なっている支援についての発表でした。また、昨年に引き続きCRCT（Conditioned Reflective Controlled Technique：条件反射制御法）プロジェクトチームは、アルコール依存症患者の事例報告を行いました。総務課からは社会の変化や職員の働き方の多様性を考慮した現状と課題に対し、理想と思われる働き方とその取り組みについての発表でした。

アンケートでは「患者さんに寄り添った支援が病院全体でされていると思いました」などの感想や「共和病院の特徴的な取り組みをどんどん発信して頂きたいです」の期待の声

もいただきました。今後も様々な医療・介護等の提供、地域の関係機関の方々との連携に取り組んでまいります。そして、本研究発表会が20回、30回と継続し、更に充実した内容を皆様に発表できるよう取り組んでまいります。

研究発表会 実行委員長 新美 詠彦



終了後の交流会も様々な話題で盛り上がりしました

研究発表プログラム

1. 家族と地域を繋ぐ不登校・ひきこもり支援相談のありかた

飯田 愛（臨床心理士）



4. 条件反射制御法治療の有効性 ーアルコール依存症患者の事例報告ー

森田 智也（精神保健福祉士）



2. 暴力を受け続ける病棟看護師の心理状況 ー過緊張状態での関わりが 認知症患者に及ぼす影響を探るー

丹羽 俊樹（看護師）



5. リカバリーの実現と ひずみのない支援を目指して ー当院リカバリー支援委員会／ReSTの実践紹介ー

朝倉 起己（作業療法士）



3. 衝動性の強い発達障害患者への効果的な看護 ー頻繁な暴力がみられる 自閉症患者への介入ー

野中 美香（看護師）



6. 『私たちの考えた』 共和会の働き方改革

丸山 浩史（総務課）



外国人看護師を受け入れて

日本では現在、EPA（Economic Partner Agreement：経済連携協定）に基づいて、外国人看護師および介護福祉士候補者の受け入れを実施しています。

当院でもご縁があり、インドネシアから看護師のイエルビス エメリア エレンス（以下イエルビス）さんに就職して頂きました。イエルビスさんは数年前、EPAで来日されました。看護師資格を取り、横浜で就職された後、一旦帰国されましたが、再び日本で働きたいと思われ、当院に就職の打診をされました。それまで外国人看護師を実際に当院で受け入れることを検討してはいませんでした。国民性の違いなど受け入れに際しては勉強会を開き職員が一丸となって受け入れ準備をしました。就職面接はインドネシアと日本とをネット回線を使って行いました。画面の向こうの太陽のような笑顔に、早くお越し頂きたいという想いが募りました。

受け入れ準備に際しては、入管管理局、日本領事館、ビザ申請…などと慣れない言葉も多く飛び交いました。アパート準備には、職員が食器や家具の提供もしました。そして、晴れて2018年3月より就職して頂きました。当初から、驚くほど早く業務を覚えていただき、真面目で一生懸命働く姿は、職場を明るくしています。イエルビスさん本人からも「周りが助けてくれて、教え



イエルビスさん（前列左から2番目）

てもらえて楽しい」との感想が聞かれています。

嬉しいことに、イエルビスさんからの紹介で、現在もう1名インドネシアから看護師の受け入れ準備を進めております。また、今までは資格取得後の方達の受け入れでしたが、今後は介護福祉士候補者の受け入れも行なっていく予定です。日本の将来を支えるためにも国際的な視点を持ちながら、質の高い看護、介護を提供し続けたいと思います。

看護部 新美 恵介



最後のさつき会

3月16日(土)、さつき会(当院の家族会)が主催し、榎本名誉院長による講演会が開かれました。

榎本先生には、臨床において大切にされていることや様々な経験を振り返り、思ったことをお話しいただきました。参加者は50名以上で大盛況。皆さん、うなずいたり笑ったりしながら先生のお話を聴きました。



その後は、榎本先生を囲んで昼食をとりながらの交流会、最後は笑顔で記念撮影。

非常に残念ではありますが、さつき会の活動はこれで最後となります。

今までとは違う形になりますが、当院としては今後でもご家族の皆様のお力になれる場を提供していきたいと思っています。



さつき会は、昭和から平成へかけて50年以上、愛知県下初の病院家族会として活動してきました。この度、会員数の減少と役員の高齢化により、閉会することとなりました。

皆様これまでのご参加・ご協力にとっても感謝しております。誠にありがとうございました。

さつき会役員一同

編集後記



あっという間に春を迎えました。新館の建設も進み、完成が近づいてきています。

今年度は共和会設立60周年記念となりました。広報誌委員会ではただ今、60周年記念誌の発刊に向け、内容について話し合っているところです。

この10年を振り返りつつ、これからどんな実践をしていくのか、自分自身も気持ちを新たに考えてみたいと思いました。今年度も、どうぞよろしくお願いします。

広報誌委員会 豊田 佳子



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

4月より

外来・検査等の場所を 変更しました。

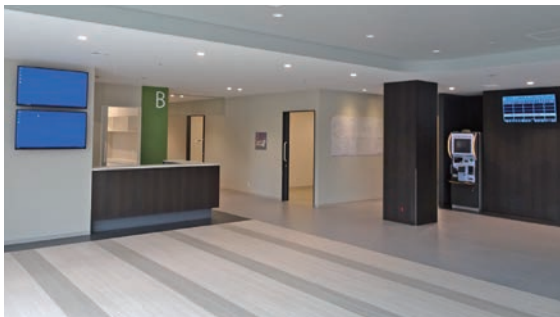
B館からC館にすすみ、
いったん外へ出てから
A館へお入りください

新館の完成にともない、4月より
外来・検査等の場所を変更しました。

駐車場から院内への出入口の変更は
ありませんが、院内に入られてから
外来への経路が変更になります。ご迷
惑をおかけしますが、院内の掲示等
でご案内いたしますので、ご確認ください。
車椅子や足の不自由な方は、ぜひ
乗降場をお使いください。



エレベーターホール



外来



病棟

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに温かい
メッセージをお送りします。是非お聞ください。

**おもいやり共和の
キラキラチアナイト**

当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

- ゴールデンウィークの期間（4月27日～5月6日）は、
4月30日(火)と5月2日(木)は、通常通り診療を行ないます。
- 5月6日(月)は、大府市休日診療当番により午前中 内科診療を行ないます。
- 8月10日(土)～8月14日(水)は、お盆につき外来診療を休診させていただきます。